

熊本県立あしきた青少年の家 指定管理者 平成29年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
施設概要	<p>所在: 葦北郡芦北町鶴木山</p> <p>施設: 宿泊棟(和室・洋室)、大・中・小研修室、体育館、文化ホール、キャンプ場等</p> <p>目的: 本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000 円(4施設合計、利用料金制)

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	72,731 人	76,633 人	前年度実績 72,190 人
研修活動中の事故の有無	0 件	0 件	軽傷を除く
【点検・調査結果及び評価】			
<p>熊本市内の中学校の利用に加え、一般団体の利用増もあり、前年度と比較し、4 千人を超える利用者増を達成、指定管理者制度導入後、最多の利用者数を確保した。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組みを期待する。</p>			

## 2 管理業務実施状況

### 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託
	エレベーター設備点検	年12回	同上
	空調設備点検	年4回	同上
	ヒートポンプチラーユニット点検	年2回	同上
	吸収式冷温水機点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	浄化槽保守点検	年24回	同上
	浄化槽清掃	年1回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	防火対象物点検	年1回	同上
	衛生設備点検(温水ヒーター)	年2回	同上
	衛生設備点検(その他)	年3回	同上
	自動ドア保守点検	年3回	同上
	移動式観覧席点検・整備	年1回	同上
	貯水槽保守点検	年1回	同上
	貯水槽清掃	年1回	同上
	貯湯タンク洗浄点検	年1回	同上
	濾過循環系配管内清掃	年1回	同上
	濾過器オーバーホール	年1回	同上
	害虫駆除	年2回	同上
	厨房ダクト清掃	年1回	同上
	ボイラー排ガス測定	年1回	同上
	排煙ファン法定点検	年1回	
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	水質検査(簡易水道)	年1回	専門業者に委託
	水質検査(浴槽)	年1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
	地下タンク点検	週1回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
空気環境測定	年5回		
建築設備定期点検	年1回		

【点検・調査結果及び評価】

施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。

## 運営事業実績

### (主な事業・イベント)

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
あしきた未来スクール(全10回)	5~2月	155人	地域の子どもたちに年間を通じて体験活動の機会を提供し、コミュニケーション能力、自立心、協調性等の能力を育む。
シーサミットあしきた	7/15,16	41人	海辺の活動の正しい知識、危険への対処法を身につけ、海の実しさ、楽しさを体感し、自然を慈しむ心を育てる。
~暑い夏に思い出づくり~Sea サマーキャンプ	7/25,26	67人	熊本地震の被害が大きかった地域の子どもたちを対象に、海の体験活動を提供し、心身リフレッシュを図るとともに、仲間との絆を深める機会とする。
地引網体験	8/26	177人	地引網の楽しさ、大変さを体験しながら、海の豊かさを実感するとともに、環境を大切にすることを育む。
秋の自然体験教室	11/11,12	23人	野鳥や海岸特有の植物の観察、落ち葉や木の実を用いた創作活動を通して、自然と親しみ自然を大切にすることを育む。
サラダたまねぎ植え付け体験	11/18	32人	サラダたまねぎの植え付け体験を通して、環境を考えるとともに日常の食生活への関心を高める。
小学生英語体験教室 A・B・Sea	2/17,18	33人	自然体験を通して英語に慣れ親しみ、異学年や他校児童とふれあうことで、積極的に人とかかわる態度を育てる。
うたせの丘杯 グラウンドゴルフ大会	3/3	122人	参加者同士の交流を深めるとともに、身近な施設として青少年の家を理解いただき、施設と地域の姿勢を身につける。
春の自然体験教室	3/10,11	27人	星空や里山の良さに触れ、自然環境を大切にすることを育み、今後の環境保全活動参画のきっかけづくりとする。
第6回あしきたフォトコンテスト~来て、見て、撮って、あしきた~	10~3月	102人	青少年の家の風景、活動の様子や芦北町を撮影した写真を広く募集し、芦北町における体験活動の素晴らしさの周知を図る。

#### 【点検・調査結果及び評価】

環境センター、海上保安庁、芦北町との連携をとり、様々な体験活動の機会の提供を図っている。今後は、企画事業の教育的効果を検証し、体験活動のさらなる普及・啓発及び利用促進につなげていただきたい。

「~暑い夏に思い出づくり~Sea サマーキャンプ」は熊本地震の被害が大きかった地域の子どもたちを対象とする企画事業で、昨年度に続き2回目の開催であったが、参加者数は大幅増であった(26人 67人)。被災した子どもたちへの長期的なケアの一環として、今後も継続して実施することを期待したい。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	347 日	347 日	100.0%
	宿泊可能日数	333 日	334 日	99.7%
	利用日数	284 日	294 日	96.6%
	利用率	81.8%	84.7%	96.6%
	利用者実数	30,310 人	28,530	106.2%
	利用者延べ数	70,955 人	66,358	106.9%
キャンプ場	開館日数	347 日	347 日	100.0%
	宿泊可能日数	333 日	334 日	99.7%
	利用日数	62 日	55 日	112.7%
	利用率	17.9%	15.9%	112.7%
	利用者実数	1,268 人	1,241 人	102.2%
	利用者延べ数	2,307 人	2,333 人	98.9%
出前講座等	利用者実数	3,371 人	3,499 人	96.3%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>本館利用者(延べ数)については前年度比 4 千人超の増があり、指定管理者制度導入以降、最多の利用者数を達成した。主な要因として、熊本市の小・中学校の利用増があるが、施設の魅力(施設面・環境面)を十分にアピールすることで、リピーター・新規の利用者取り込みにつながることができている。</p> <p>また、早目のキャンセル確認等により、繁忙期における空室を極力なくす等、きめ細かい利用者対応が今回の結果につながっている点も高く評価したい。</p>				

#### 4 管理経費の収支状況

収入			
項目		内訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般 7,498 人、高校生以下 30,903 人、就学前の者 614 人	20,843,050
	キャンプ場	一般 394 人、高校生以下 927 人、就学前の者 27 人	214,840
	宿泊を伴わない利用	一般 1,311 人、高校生以下 648 人、就学前の者 71 人	229,050
	文化ホール	153 時間	235,620
	マリン活動船艇	19,602 人	980,100
指定管理料		指定管理者による本施設への振り分け	105,666,000
企画事業等収入		14 事業	1,168,490
その他活動収入		出前講座 26 団体	182,910
プログラム活動料金			773,870
食事代			75,990,350
シーツ等クリーニング代			3,942,150
雑収入			596,853
合計			210,823,283
		収入未済額	0
		うち利用料金収入分	

支出			
項目		内訳	金額(円)
人件費			70,835,338
運営管理費		旅費、管理費、活動プログラム費等	4,580,075
維持管理費		光熱水費、業務委託費、施設修繕費	107,743,223
企画事業費			1,080,947
合計			184,239,583

#### 【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	平成29年4月1日～平成30年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	464 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	375	80.8	81	17.5	8	1.7	0	0	0	0	0	0
	活動内容	310	66.8	81	17.5	20	4.3	0	0	0	0	53	11.4
	職員の受入れ対応	377	81.3	80	17.2	4	0.9	1	0.2	0	0	2	0.4
	職員の指導・助言	361	77.8	85	18.3	11	2.4	0	0	0	0	7	1.5
	食堂スタッフの対応	284	61.2	107	23.1	31	6.7	2	0.4	0	0	40	8.6
	食事の質	191	41.2	153	33.0	74	15.9	7	1.5	0	0	39	8.4
	食事の量	230	49.6	139	30.0	51	11.0	3	0.6	1	0.2	40	8.6
	屋内の施設・環境	242	52.2	145	31.3	51	11.0	12	2.6	0	0	14	3.0
	屋外の施設・環境	309	66.6	116	25.0	15	3.2	1	0.2	1	0.2	22	4.7
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		308	66.4			86	18.5			0	0	70	15.1
	利用者からの意見等												
【点検・調査結果及び評価】		<p>アンケート結果から、全般に利用者からの評価は高く、評価できるが、「非常によい」の評価が多くの項目で低下している。要因を確認の上、さらなるサービスレベルの向上に向け、意識徹底を図っていただきたい。</p> <p>アンケート結果からは食堂に関する評価の改善は確認できない。「食事の質」「食事の量」ともに評価が低下している。食堂サービスのクオリティー向上については、取組みを継続いただきたい。</p>											

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
アレルギー対応食の提供の際の確認徹底	臨時研修を実施した。 調理作業の環境・流れやメニュー設定を見直し、食器類も通常食と異なる色のお盆、食器により提供することとし、検食の意義の再確認を行った。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>意見・苦情等には速やかに改善に着手している。アレルギー対応を目に見える、より分かり易い方法で改善を図ったことは、ミスの減少に寄与する取組みとして期待できる。</p>	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
キャンプ場の通年利用の効果について	キャンプ場を通年利用とすることで、利用者増を見込んだが、結果は前年度比減であった。 キャンプ場の通年利用により、年間を通じて本館利用者の野外炊飯が可能となり、冬季の宿泊学習利用者への提供が可能となった。 企画事業で冬キャンプを企画し、冬季の体験活動を提供できたが、利用促進を図るため、冬キャンプの魅力をPRする広報戦略を行っていく。
アンケートの食堂サービスに関わる項目の評価低下について	昨年度の結果を踏まえ、スタッフの対応、食事の質・量の改善、メニューの改定を行ったが、評価向上にはつながっていない。 北九州の青少年施設の食堂視察、意見交換を行い、得た知見の反映(アレルギー対応・注意喚起等)を図っている。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>指摘事項に対する対応・取組みは評価できる。</p> <p>食事の質・量の改善は各施設に共通の課題である。予算の制約はあるが、小さな改善活動を継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。</p>	

## 8 その他

アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
--